

令和5年6月

# 魚津市定例記者会見



日時:令和5年6月1日(木) 午後1時30分～午後1時50分

場所:市役所 第一会議室

報道出席者:北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、NHK 富山放送局、  
北日本放送、NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者:市長、総務部長、財政課長、企画部次長(情報広報課長)

## 【市長からの発表事項】

### 1. 6月市議会定例会に提案する補正予算

(財政課)

・6月定例会に提出する補正予算額は754,274千円です。物価高騰対策で5事業、その他についてご説明します。(資料に基づき説明)

(物価高騰対策)

- ① 小・中学校給食費支援
- ② 公共交通等物価高騰対策
- ③ 社会福祉施設物価高騰対策
- ④ 保育施設等物価高騰対策
- ⑤ 公衆浴場物価高騰対策

(その他)

- ⑥ 室内温水プール建替推進事業
- ⑦ ゼロカーボン重点対策事業
- ⑧ ミラージュランド大観覧車整備事業
- ⑨ 「富富富」生産拡大支援事業
- ⑩ 農地利用効率化等支援事業
- ⑪ スクールバス安全装置設置事業
- ⑫ 農林水産物輸出拡大活動支援事業
- ⑬ アルペンライナー運行支援事業 ほか4事業

## 2. 市民まちづくり活動応援（補助金交付事業）

（地域協働課）

- ・令和5年の新規事業。魚津市「ともにつくるまち」促進事業補助金、魚津市若者のまちづくり活動応援事業補助金の2つであり、若者まちづくり活動では、若者のユニークな発想を応援していきたい。

## 3. おためし移住住宅の入居募集

（地域協働課）

- ・魚津市営住宅の空室を移住希望者向けに「おためし移住住宅」として活用し、6月から入居募集を開始。2部屋を安価な使用料で用意した。生活に最低限必要な家電等が備え付けられているため、すぐに生活体験をしていただけたらと考えている。

## 4. 魚津市地域おこし協力隊報告会

（地域協働課）

- ・現在、丹羽さん、湯澤さん、藤本さんの3名の地域おこし協力隊が活動している。丹羽隊員は、3年の任期を満了予定。ぜひ取材をお願いしたい。

## 5. 母子手帳アプリ「すくすく うおづ」導入

（健康センター）

- ・母子手帳アプリ「すくすく うおづ」を導入しました。妊娠・出産に関する書類をアプリで提出することができる。アンケート機能により、窓口で40分程度かかっていた面談時間を短縮することができる。郵送でやり取りしていたものも省略することができる。ママもパパも、子育てに必要なツールとしていただきたい。

## 6. 高校生対象 合同企業・業界説明会

（商工観光課）

- ・ありそドームで高校3年生を対象とした合同企業説明会を開催。32社が参加予定。

## 7. 魚津市民バス・地鉄バス「親子でお出かけバス事業」

（都市計画課）

- ・公共交通をお試し乗車する機会を提供し、公共交通の利用促進へつなげるため、市内の小学生に大人と一緒に乗車すると、乗車が無料になる「おでかけきっぷ」を配布する。6月から11月まで実施することとしており、夏休み期間は県東部で共同実施する「親子でお出かけ事業」のおでかけきっぷがご利用できる。

## 8. 公共施設予約システム

(情報広報課)

- ・コミュニティセンター、運動施設などでオンラインによる予約が可能となった。これまで、利用者は、空き状況を確認した後に電話等で予約し、窓口で紙による申請のうえ、利用していたが、空き状況等の確認、申込が可能となる公共施設予約システムを導入し、オンラインでの予約が可能となった。事前に利用者登録が必要。運用しながら改善点も把握し、使いやすい予約システムにしていきたい。

## 9. 株式会社エスプールグローバル「BPOセンター魚津」

オープニングセレモニー (商工観光課)

- ・魚津市と企業立地協定及び包括連携協定を締結した株式会社エスプールグローバルが、6月9日サンプラザにて「BPOセンター魚津」のオープニングセレモニーを行う。本日から業務はスタートしている。スタッフは10名程度と聞いており、これまで女性の働く場となるよう準備を進めてきた。スタッフ募集は続けていく。Uターンの受け皿となってほしいとも考えている。

### 【質疑応答の内容】

#### ○「6月補正予算」について

《記者からの質問》

大きな金額であり補正財源に市債もあるようだが、市の財政状況は大丈夫なのか。

《回答》(市長) 計画的に行財政運営を進めている。

《記者からの質問》

観覧車の塗り替えは、平成23年にも実施していたとのことだが、当時の財源として市の持ち出しはあったのか。

《回答》(市長)

当時は、施設管理公社が負担しており少額であった。これまで総事業費をみながら応援していた。何より安全面の確保が重要と考えている。

《記者からの質問》

アルペンライナーは継続事業になるのか。立山町は助成していないとのことだが、魚津市の利用者はどのくらいいるのか。魚津市の利用者がいなくても助成するのか。

《回答》（市長）

平日運行の追加により、これまでの事業の拡充ということで今回計上している。魚津市の利用者は少ないと思うがいらっしゃる。利用者実績をみて助成しているわけではない。

《記者からの質問》

電力の価格高騰に対する市民や民間事業者への支援をするとのことだが、市役所の施設等は耐えられるのか。

《回答》（市長）

昨年度と同様、年度終盤に不足があれば対応していくことになる。規模や動力が大きい施設は影響が大きいと考えている。